

第3章 環境指標の把握と評価

第4節 地盤沈下



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 木幡興業賞 瑞穂中学校 野口 愛奈 さん



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 昭和樹脂賞 桜小学校 鈴木 雪乃 さん

第 4 節 地 盤 沈 下

1 地盤沈下調査

(1) 地盤沈下変動量

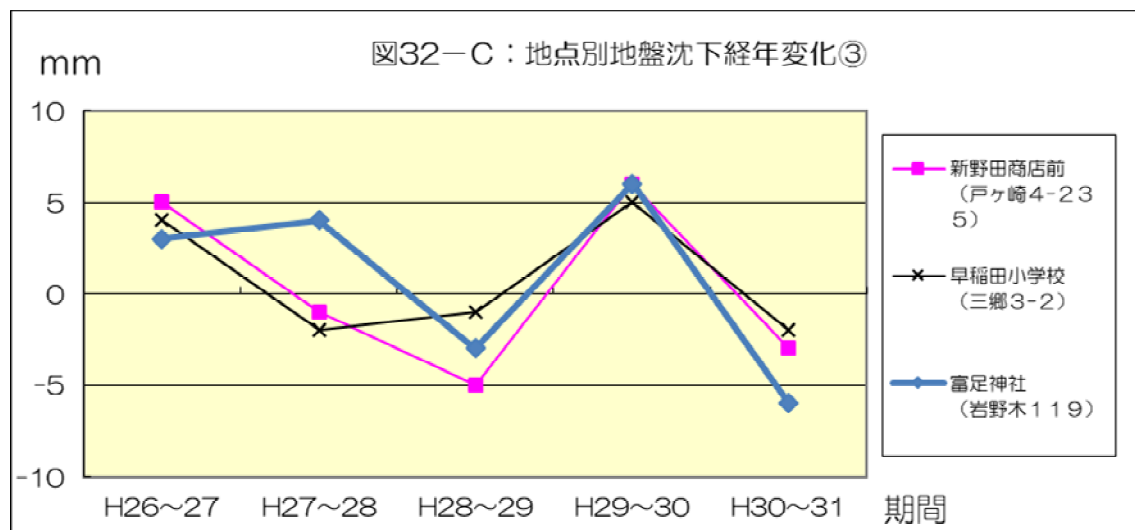
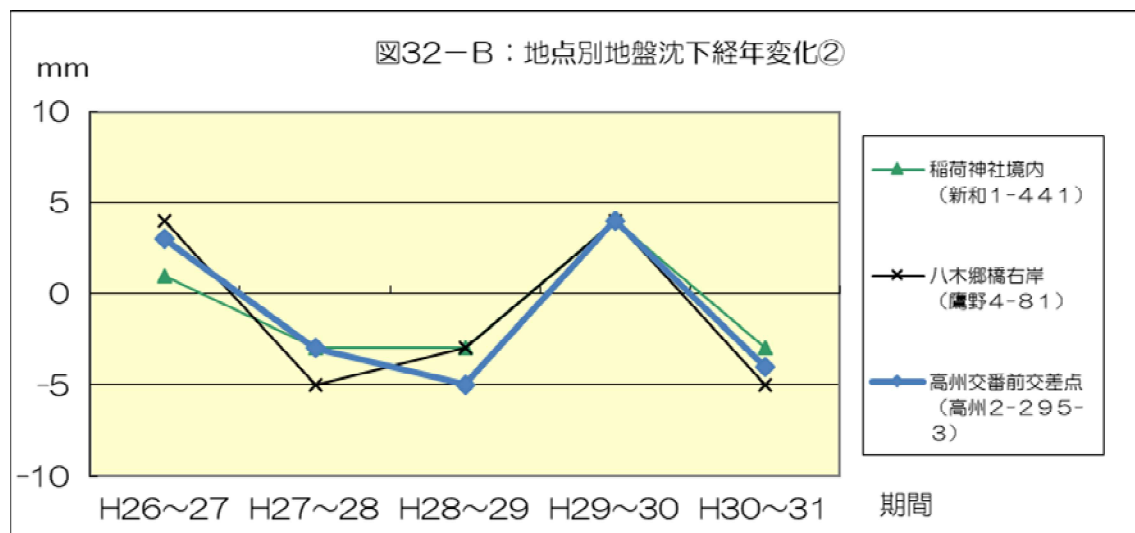
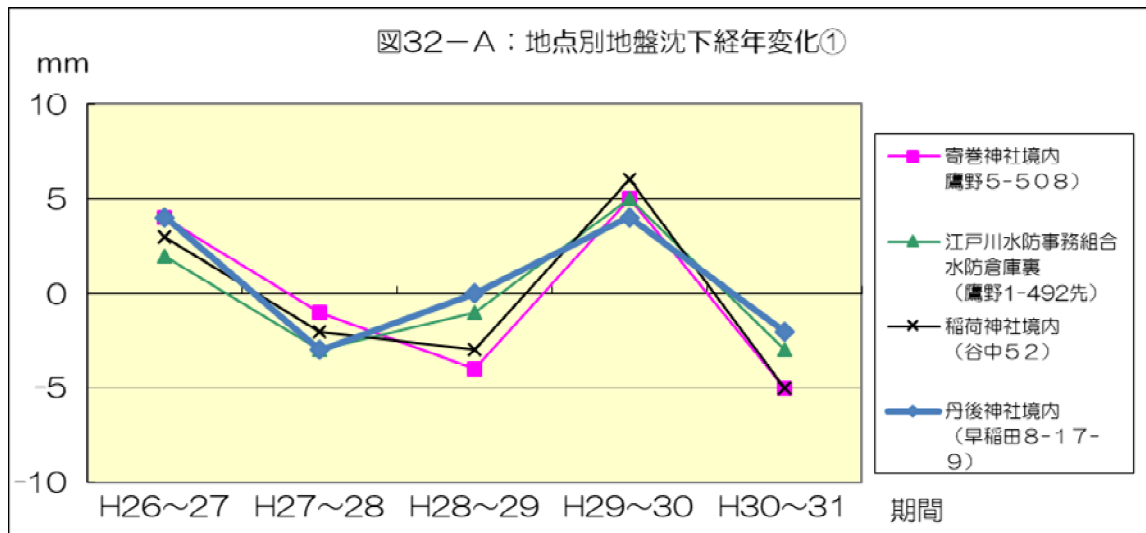
三郷市の地盤沈下に係る調査は、埼玉県が市内 10ヶ所の地点で測量調査を行なっている。
その調査結果は表 32 及び図 32-A・B・Cのとおりである。

地盤沈下変動量 [単位：mm] (表 32)

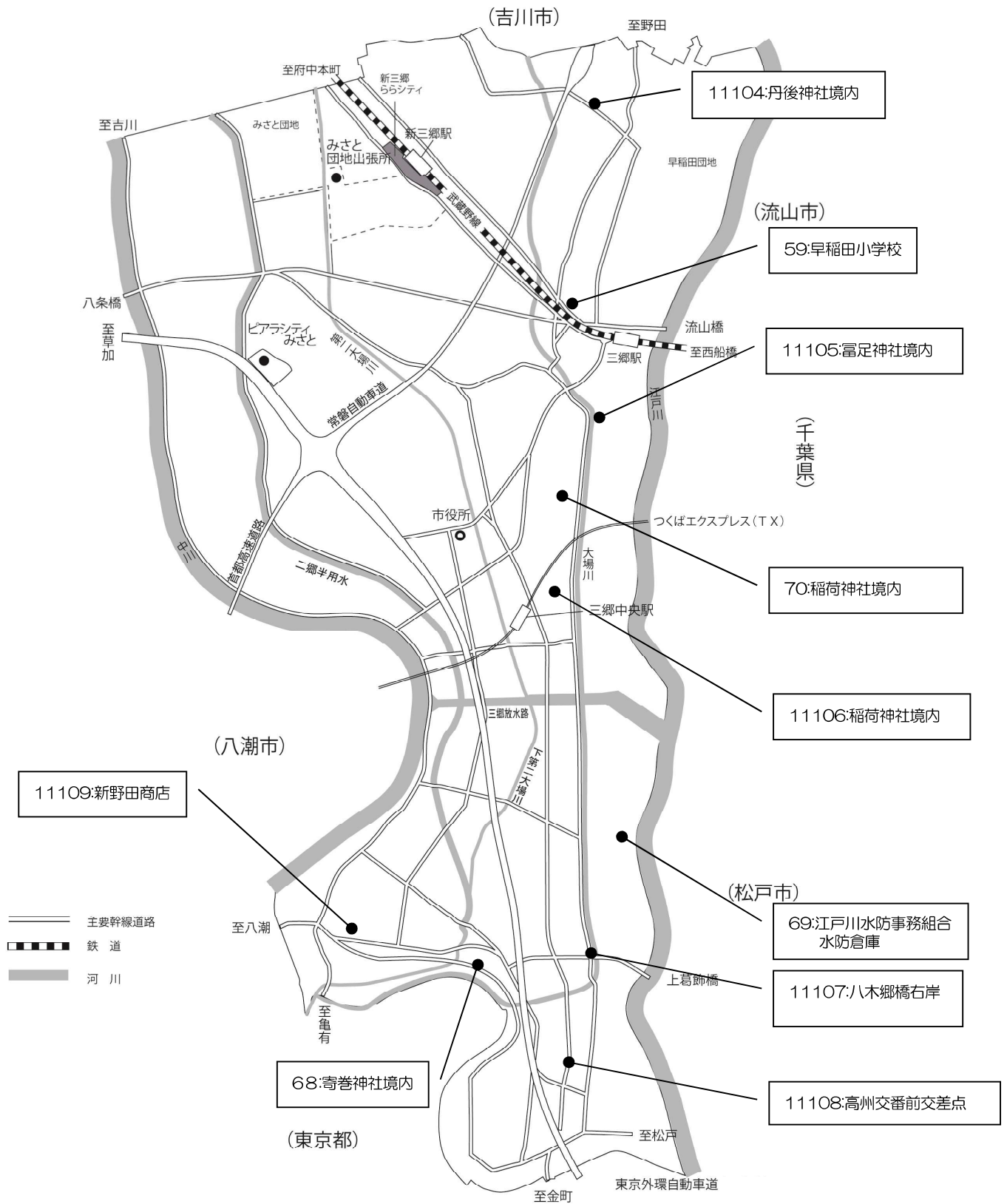
(埼玉県地盤沈下調査報告書)

基準番号	目標・所在地	調査開始	調査開始時の真高	H28 ～29	H29 ～30	H30 ～31	過去 5 年間の 変動量	調査開始からの 変動量	H31.1.1 の真高(m)
68	寄巻神社境内 (鷹野 5-508)	S36.2.1	2,750	-4	+5	-5	-0.3	-979.0	1.7484
69	江戸川水防事務組合 水防倉庫 (鷹野 1-492 地先)	S36.2.1	2,041	-1	+5	-3	-0.3	-912.5	1.6448
70	稻荷神社境内 (谷中 52)	S36.2.1	2,360	-3	+6	-5	-1.3	-1005.7	1.3301
11104	丹後神社境内 (早稲田 8-17-9)	S36.2.1	2,672	0	+4	-2	+1.8	-129.3	2.5186
11106	稻荷神社境内 (新和 1-441)	S36.2.1	2,980	-3	+4	-3	-3.8	-1028.2	1.9283
11107	八木郷橋右岸 (鷹野 4-81)	S36.2.1	2,371	-3	+4	-5	-4.5	-785.4	1.5620
11108	高州交番前交差点 (高州 2-295-3)	S36.2.1	3,295	-5	+4	-4	-4.7	-431.6	2.6013
11109	新野田商店前 (戸ヶ崎 4-235)	S36.2.1	2,645	-5	+6	-3	+1.8	-805.9	1.8172
59	早稲田小学校 (三郷 3-2)	S58.1.1	2,380	-1	+5	-2	+2.9	-44.4	2.3113
11105	富足神社境内 (岩野木 119)	S36.2.1	3,295	-3	+6	-6	+3.9	-226.5	3.0273

※ 過去5年間の変動量は、それぞれ各年度の変動量について、小数点以下も含めた実数を合計した後、
各年度については再度小数点第1位で四捨五入しているため誤差が生じている箇所もある。



(2) 地盤沈下測定地点図



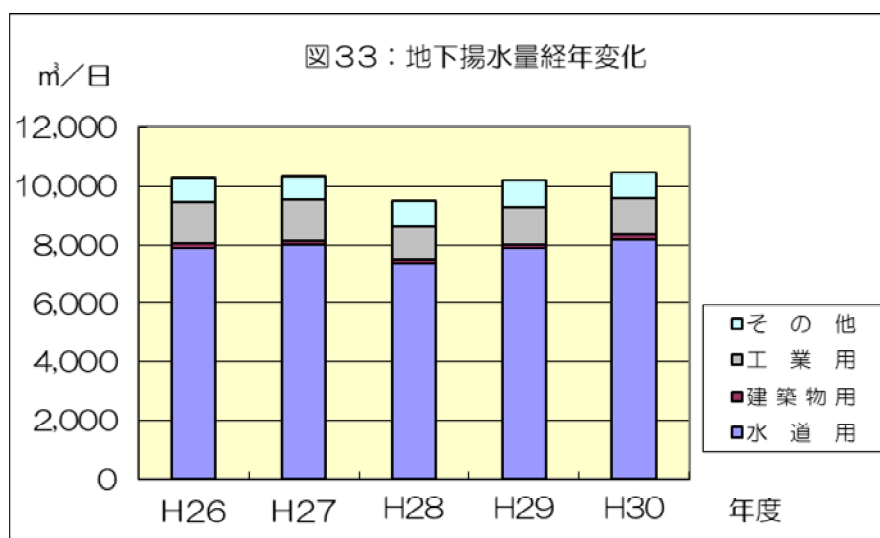
(3) 地下水揚水量

地下水揚水量は、表 33 及び図 33 のとおりである。

水道用 8,184m³/日、工業用 1,220m³/日、建築物用 159m³/日、その他 864m³/日で、計 10,427m³/日である。前年度に比べると、全項目で増加した。

地下水揚水量経年変化（表 33）[単位：m³/日]

項目・年度	28年度	29年度	30年度
水 道 用	7,354	7,857	8,184
建築物用	147	160	159
工 業 用	1,133	1,270	1,220
そ の 他	834	908	864
計	9,468	10,195	10,427



第3章 環境指標の把握と評価

第5節 苦情処理状況



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 栄和化工賞 瑞木小学校 深川 幸之助 さん

第 5 節 苦 情 処 理 状 況

苦情処理の概要

苦情処理件数（表34及び図34参照）は、年間で418件あり、このうち、典型7公害（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）についての苦情が142件、その他が276件である。

近年は、騒音と振動等、複合型公害の苦情が増加傾向にあり、騒音や振動を発生する施設や作業を行う事業者の近隣住民への十分な配慮が求められている。

その他の苦情については、ほとんどが雑草の繁茂によるものであり、あき地の所有者や管理者の適正な管理が求められている。

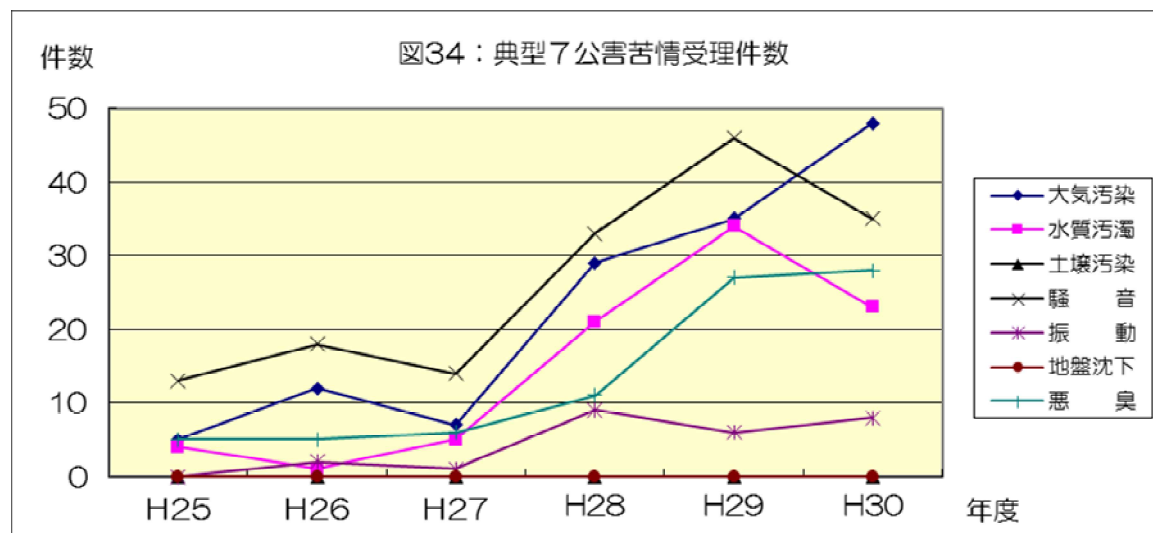
年度別苦情処理件数〔単位：件〕（表34）

項目・年度		28年度	29年度	30年度
典型7公害	大気汚染	29	35	48
	水質汚濁	21	34	23
	土壌汚染	0	0	0
	騒音	33	46	35
	振動	9	6	8
	地盤沈下	0	0	0
	悪臭	11	27	28
そ の 他		174	227	276
合 計		277	375	418



野外焼却の現場の様子

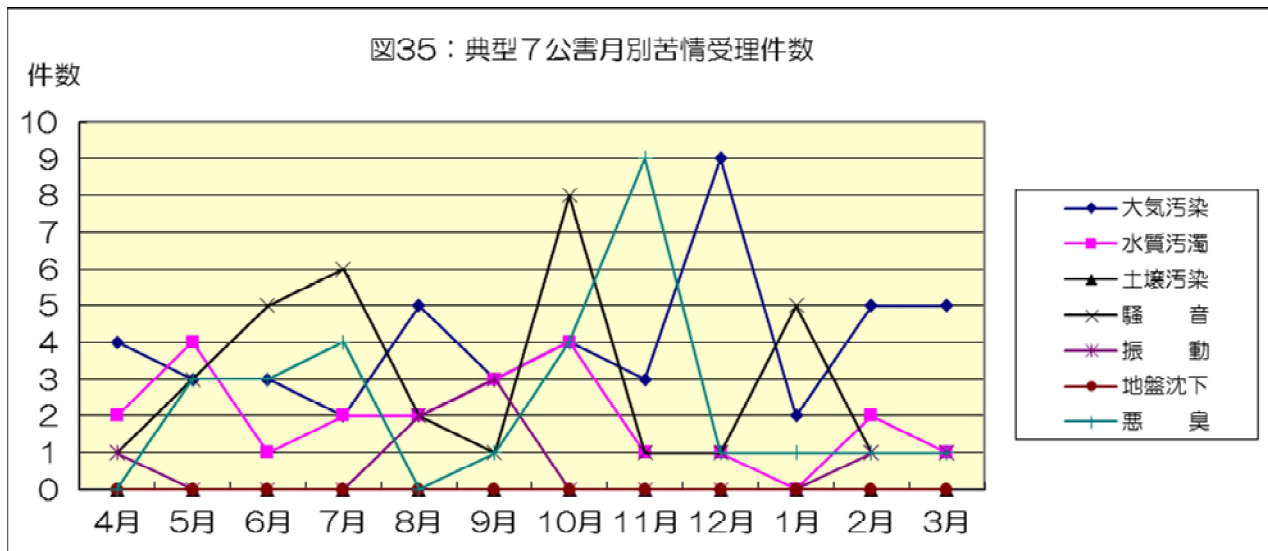
※ 平成28年度から集計方法を変更



月別苦情処理件数（表 35 及び図 35 参照）をみると、3月から7月くらいにかけて苦情が多く、年始には少ないという傾向がわかる。また、データの取り方を変更し、軽微な苦情も計上しているため、全体的に増加の傾向がみられた。

月別苦情件数（表 35）

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大気汚染	4	3	3	2	5	3	4	3	9	2	5	5	48
水質汚濁	2	4	1	2	2	3	4	1	1	0	2	1	23
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	1	3	5	6	2	1	8	1	1	5	1	1	35
振 動	1	0	0	0	2	3	0	0	0	0	1	1	8
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	0	3	3	4	0	1	4	9	1	1	1	1	28
そ の 他	29	46	30	31	32	21	24	15	15	11	8	14	276
合 計	37	59	42	45	43	32	44	29	27	19	18	23	418



第3章 環境指標の把握と評価

第6節 ダイオキシン類



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 JFE条鋼賞 北中学校 小林 なつみ さん

第 6 節 ダイ オ キ シ ン 類

1 環境基準等

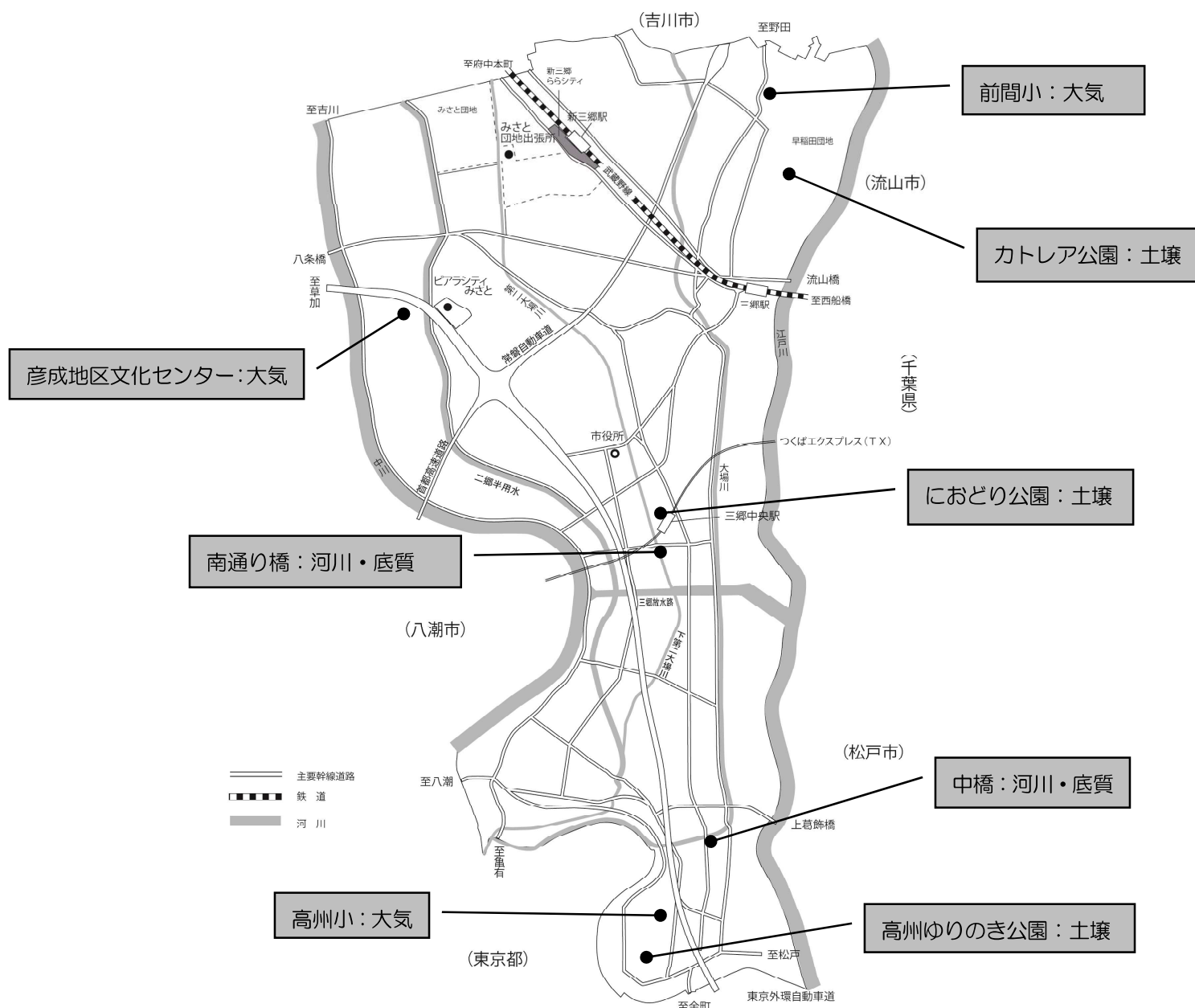
(1) 環境基準値

ダイオキシン類については、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準として環境基準が定められています。

環境項目	環境基準値	環境項目	環境基準値
大気 (pg-TEQ/m ³)	0.6 以下	河川水 (pg-TEQ/ℓ)	1 以下
土壌 (pg-TEQ/g)	1,000 以下	河川底質 (pg-TEQ/g)	150 以下
耐容1日摂取量 (pg-TEQ/体重 kg/日)	*4		

注：pg (ピコグラム) = 1 兆分の 1

(2) ダイオキシン類測定地点図 (平成 30 年度)



2 ダイオキシン類の調査

(1) 大気の測定結果と評価

大気中のダイオキシン類調査を3地点で各2回行なった。(ダイオキシン類測定地点図参照)

3地点における測定値は、0.018～0.055 pg-TEQ/m³で、いずれも環境基準値である0.6pg-TEQ/m³を下回っており、すべての地点で環境基準を達成していた。(表 36 参照)

ダイオキシン類（大気）測定結果 [単位：pg-TEQ/m³（ピコグラム）]（表 36）

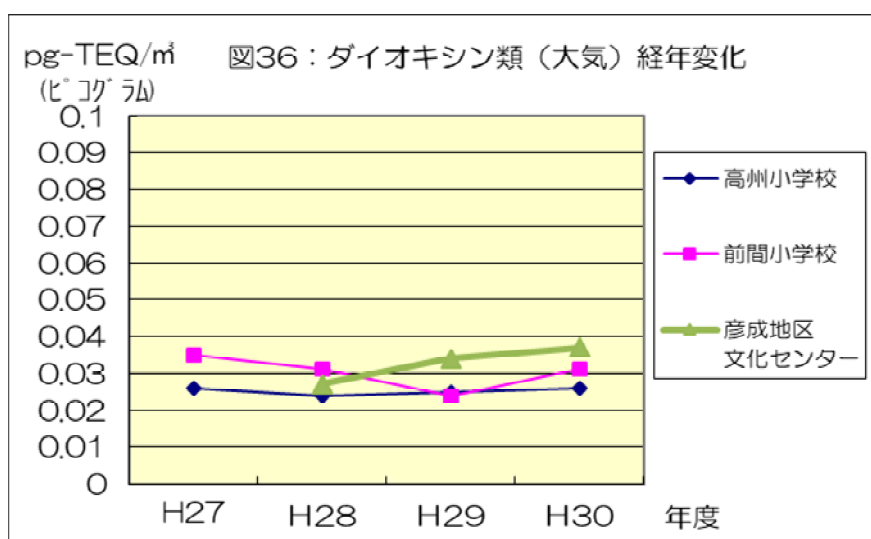
地点／年月	H30 8/23～8/30	H31 1/24～1/31	年平均
高州小学校	0.019	0.033	0.026
前間小学校	0.021	0.041	0.031
彦成地区 文化センター	0.018	0.055	0.037



分析機関での分析の様子

ダイオキシン類（大気）経年変化 [単位：pg-TEQ/m³（ピコグラム）]（表 37）

地点 / 年	H27	H28	H29	H30
高州小学校	0.026	0.024	0.025	0.026
前間小学校	0.035	0.031	0.024	0.031
彦成地区文化センター		0.027	0.034	0.037



(2) 土壌の測定結果と評価

土壌中のダイオキシン類調査を3地点で行った。(ダイオキシン類測定地点図参照)

3地点における測定値は、1.7～5.7pg-TEQ/gで、いずれも環境基準値である1,000pg-TEQ/gを大幅に下回っており、すべての地点で環境基準を達成している。(表38参照)

ダイオキシン類(土壌)測定結果[単位:pg-TEQ/g(ピコグラム)](表38)

地点/年	H28	地点/年	H29	地点/年	H30
におどり公園	8.3	におどり公園	2.5	におどり公園	2.9
戸ヶ崎 みなみ公園	3.9	岡庭 ちびっ子広場	0.048	カトレア公園	5.7
白鳥公園	0.22	カトレア公園	4.6	高州ゆりのき 公園	1.7

(3) 河川底質の測定結果と評価

河川底質中のダイオキシン類調査を大場川及び第二大場川の各2箇所、2地点で行った。(ダイオキシン類測定地点図参照)

測定値は、3.1pg-TEQ/g、46pg-TEQ/gで、2地点とも環境基準である150pg-TEQ/gを大幅に下回っており、環境基準を達成している。(表39参照)

ダイオキシン類(河川底質)測定結果[単位:pg-TEQ/g(ピコグラム)](表39)

地点/年	H28	地点/年	H29	地点/年	H30
中橋 (大場川)	55	中橋 (大場川)	2.5	中橋 (大場川)	3.1
南通り橋 (第二大場川)	9.9	南通り橋 (第二大場川)	51	南通り橋 (第二大場川)	46

(4) 河川水の測定結果と評価

河川水中のダイオキシン類調査を、大場川及び第二大場川の各1箇所、2地点で行った。(ダイオキシン類測定地点図参照)

測定値は、中橋(大場川)で0.47pg-TEQ/lで環境基準値1pg-TEQ/lを下回っていたが、南通り橋(第二大場川)において、環境基準値を0.1pg-TEQ/l超過していた。

ダイオキシン類(河川水)測定結果[単位:pg-TEQ/l(ピコグラム)](表40)

地点/年	H28	地点/年	H29	地点/年	H30
中橋 (大場川)	1.6	中橋 (大場川)	1.1	中橋 (大場川)	0.47
南通り橋 (第二大場川)	0.97	南通り橋 (第二大場川)	0.58	南通り橋 (第二大場川)	1.1

